【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【公開番号】特開2018-116493(P2018-116493A)
【公開日】平成30年7月26日(2018.7.26)
【年通号数】公開・登録公報2018-028
【出願番号】特願2017-6939(P2017-6939)
【国際特許分類】
Ｇ０８Ｂ　25/08　(2006.01)
Ｇ０８Ｂ　29/10　(2006.01)
Ｇ０８Ｂ　21/00　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　11/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｒ　29/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｒ　3/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０８Ｂ　25/08　Ａ
Ｇ０８Ｂ　29/10
Ｇ０８Ｂ　21/00　Ｓ
Ｂ６０Ｒ　11/02　Ｓ
Ｈ０４Ｒ　29/00　３１０
Ｈ０４Ｒ　3/00　３１０

【手続補正書】
【提出日】平成30年11月28日(2018.11.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
スピーカ（３０）と接続され、前記スピーカへ第１の音信号を出力する音信号出力部（１１）を備えた緊急通報装置であって、
前記スピーカと前記音信号出力部との間に配置され、前記スピーカと前記スピーカに第２の音信号を出力するオーディオ装置（２０）とが接続されている状態と、前記スピーカと前記音信号出力部とが接続されている状態とを切り換える切換部（１４）と、
前記スピーカと前記オーディオ装置とを接続する配線の一部であり、前記切換部が途中に配置され、かつ、前記オーディオ装置からの第１の外部配線（２１Ａ）、および前記スピーカへの第２の外部配線（２１Ｂ）と、それぞれ、コネクタを介して接続される内部配線（２１Ｃ）と、
前記切換部よりも前記スピーカ側の前記内部配線に流れる電流に対応する電圧を検出する信号検出部（１５、２１５、３１５）と、
前記信号検出部で検出した電圧に基づいて、前記切換部と前記スピーカとの間の配線が断線しているか否かを判断する判断部（１３）と、を備え、
前記判断部は、前記スピーカと前記オーディオ装置とが接続され、かつ前記信号検出部が検出した電圧が所定の規定値よりも低いことに基づいて、前記切換部に対して前記スピーカと前記音信号出力部とが接続されている状態とする切り換え命令を行い、
前記切換部は、前記切り換え命令に基づいて前記スピーカと前記音信号出力部とが接続されている状態へと切り換えを行い、

前記スピーカと前記音信号出力部とが接続されている状態へと切り換えを行った後、前記音信号出力部は、前記スピーカへ前記第１の音信号を出力し、
前記判断部は、前記音信号出力部が前記第１の音信号を出力しているときに、前記信号検出部が検出した電圧が前記規定値以上か否かに基づいて前記切換部と前記スピーカとの間の前記配線が断線しているか否かを判断する、緊急通報装置。
【請求項２】
スピーカ（３０）と接続され、前記スピーカへ第１の音信号を出力する音信号出力部（１１）を備えた緊急通報装置であって、
前記スピーカと前記音信号出力部との間に配置され、前記スピーカと前記スピーカに第２の音信号を出力するオーディオ装置（２０）とが接続されている状態と、前記スピーカと前記音信号出力部とが接続されている状態とを切り換える切換部（１４）と、
前記スピーカと前記オーディオ装置とを接続する配線の一部であり、前記切換部が途中に配置され、かつ、前記オーディオ装置からの第１の外部配線（２１Ａ）、および前記スピーカへの第２の外部配線（２１Ｂ）と、それぞれ、コネクタを介して接続される内部配線（２１Ｃ）と、
前記切換部よりも前記スピーカ側の前記内部配線に流れる電流に対応する電圧を検出する信号検出部（１５、２１５、３１５）と、
前記信号検出部で検出した電圧に基づいて、前記切換部と前記スピーカとの間の配線が断線しているか否かを判断する判断部（１３）と、を備え、
前記信号検出部（１５）は、
前記内部配線上、かつ、前記切換部を挟む２点の電圧と、
前記音信号出力部と前記切換部との間の配線上の点と、前記内部配線上の前記切換部よりも前記スピーカ側の点との間の電圧とを検出可能であり、
前記スピーカと前記オーディオ装置とが接続されている場合、前記内部配線上、かつ、前記切換部を挟む２点の電圧を検出し、
前記スピーカと前記音信号出力部とが接続されている場合、前記音信号出力部と前記切換部との間の配線上の点と、前記内部配線上の前記切換部よりも前記スピーカ側の点との間の電圧を検出する、緊急通報装置。
【請求項３】
前記信号検出部（１５）は、
前記内部配線上、かつ、前記切換部を挟む２点の電圧と、
前記音信号出力部と前記切換部との間の配線上の点と、前記内部配線上の前記切換部よりも前記スピーカ側の点との間の電圧とを検出可能であり、
前記スピーカと前記オーディオ装置とが接続されている場合、前記内部配線上、かつ、前記切換部を挟む２点の電圧を検出し、
前記スピーカと前記音信号出力部とが接続されている場合、前記音信号出力部と前記切換部との間の配線上の点と、前記内部配線上の前記切換部よりも前記スピーカ側の点との間の電圧を検出する、
請求項１に記載の緊急通報装置。
【請求項４】
前記信号検出部（２１５、３１５）は、電磁誘導結合により前記切換部と前記スピーカとの間の前記内部配線に流れる電流に対応する電圧を検出する、請求項１に記載の緊急通報装置。
【請求項５】
前記スピーカと前記音信号出力部とが接続されている状態へと切り換えを行った後に前記音信号出力部から出力される前記第１の音信号は、可聴周波数帯域外の音の信号である、
請求項１～４のいずれか１つに記載の緊急通報装置。
【請求項６】
前記スピーカと前記オーディオ装置とが接続され、かつ前記信号検出部が検出した電圧

が前記規定値よりも低い状態が、所定の時間継続した場合、前記切換部に対して前記スピーカと前記音信号出力部とが接続されている状態とする切り換え命令を行う、
請求項１に記載の緊急通報装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
その目的を達成するための第１発明は、スピーカ（３０）と接続され、スピーカへ第１の音信号を出力する音信号出力部（１１）を備えた緊急通報装置であって、
スピーカと音信号出力部との間に配置され、スピーカとスピーカに第２の音信号を出力するオーディオ装置（２０）とが接続されている状態と、スピーカと音信号出力部とが接続されている状態とを切り換える切換部（１４）と、
スピーカとオーディオ装置とを接続する配線の一部であり、切換部が途中に配置され、かつ、オーディオ装置からの第１の外部配線（２１Ａ）、およびスピーカへの第２の外部配線（２１Ｂ）と、それぞれ、コネクタを介して接続される内部配線（２１Ｃ）と、
切換部よりもスピーカ側の内部配線に流れる電流に対応する電圧を検出する信号検出部（１５、２１５、３１５）と、
信号検出部で検出した電圧に基づいて、切換部とスピーカとの間の配線が断線しているか否かを判断する判断部（１３）と、を備え、
判断部は、スピーカとオーディオ装置とが接続され、かつ信号検出部が検出した電圧が所定の規定値よりも低いことに基づいて、切換部に対してスピーカと音信号出力部とが接続されている状態とする切り換え命令を行い、
切換部は、切り換え命令に基づいてスピーカと音信号出力部とが接続されている状態へと切り換えを行い、
スピーカと音信号出力部とが接続されている状態へと切り換えを行った後、音信号出力部は、スピーカへ第１の音信号を出力し、
判断部は、音信号出力部が第１の音信号を出力しているときに、信号検出部が検出した電圧が規定値以上か否かに基づいて切換部とスピーカとの間の配線が断線しているか否かを判断する。
第２発明は、スピーカ（３０）と接続され、スピーカへ第１の音信号を出力する音信号出力部（１１）を備えた緊急通報装置であって、
スピーカと音信号出力部との間に配置され、スピーカとスピーカに第２の音信号を出力するオーディオ装置（２０）とが接続されている状態と、スピーカと音信号出力部とが接続されている状態とを切り換える切換部（１４）と、
スピーカとオーディオ装置とを接続する配線の一部であり、切換部が途中に配置され、かつ、オーディオ装置からの第１の外部配線（２１Ａ）、およびスピーカへの第２の外部配線（２１Ｂ）と、それぞれ、コネクタを介して接続される内部配線（２１Ｃ）と、
切換部よりもスピーカ側の内部配線に流れる電流に対応する電圧を検出する信号検出部（１５、２１５、３１５）と、
信号検出部で検出した電圧に基づいて、切換部とスピーカとの間の配線が断線しているか否かを判断する判断部（１３）と、を備え、
信号検出部（１５）は、
内部配線上、かつ、切換部を挟む２点の電圧と、
音信号出力部と切換部との間の配線上の点と、内部配線上の切換部よりもスピーカ側の点との間の電圧とを検出可能であり、
スピーカとオーディオ装置とが接続されている場合、内部配線上、かつ、切換部を挟む２点の電圧を検出し、
スピーカと音信号出力部とが接続されている場合、音信号出力部と切換部との間の配線

上の点と、内部配線上の切換部よりもスピーカ側の点との間の電圧を検出する。